

新型コロナウイルスおよび同様のリスクを持つウイルスに  
関係者が感染した可能性がある場合の対応について

ひなみ塾 塾長 黒川裕一

感染した可能性のある者が出た場合、必ず以下の手順を踏む。

- ① 塾長に事実関係を直ちに報告。(5W1Hを明示。スタッフにもCC)
- ② 塾長が連絡用メール文を直ちに作成、全スタッフにメール送信。
- ③ 全スタッフが担当クラスの塾生及び保護者宛に、塾長名義でメールを配信。
- ④ あとは、上記に基づいて個別対応。

1. 塾スタッフが感染した可能性がある場合

- ① ひなみ塾全クラスを、直ちに一時休校。(オンライン授業に切り替え)
- ② 当該スタッフについて事実確認。(検査)
- ③ 他のスタッフも、健康チェックと自宅待機。(医師の診断を受けた場合は、結果を直ちに報告)
- ④ 当該スタッフの検査結果が陰性だった場合は、1、2日のうちに塾再開。
- ⑤ 当該スタッフの検査結果が陽性だった場合は、スタッフが最後にひなみ塾に来てから一、二週間を目安に休校を継続(オンライン授業に切り替え)し、その後安全確認の上再開。必要な場合は、塾内の消毒作業も行う。(業者に依頼)

2. 塾生が感染した可能性がある場合

- ① 当該塾生について事実確認。(検査を要請)
- ② 事実がはっきりするまでは、ひなみ塾全クラスを一時休校。(オンライン授業に切り替え)
- ③ 同時に、スタッフ全員の健康チェックと自宅待機を徹底。
- ④ 当該塾生の検査結果が陰性だった場合は、1、2日のうちに塾再開。
- ⑤ 当該塾生の検査結果が陽性だった場合は、塾生が最後にひなみ塾に来てから一、二週間を目安に休校を継続(オンライン授業に切り替え)し、安全確認の上再開。必要な場合は、塾内の消毒作業も行う。

3. スタッフの家族が感染した可能性がある場合

- ① スタッフ本人の検査結果が出るまで一時休校。(オンライン授業に切り替え)
- ② 検査結果が陰性だった場合は、1、2日のうちに塾再開。(ただし、家族が一人でも陽性だった場合は、更に数日間様子を見る可能性あり。また、家族内の隔離徹底が前提)
- ③ 検査結果が陽性だった場合は、上記1と同様の対応。

4. 塾生の家族が感染した可能性がある場合

- ① 塾生本人の検査結果が出るまで一時休校。(オンライン授業に切り替え)
- ② 検査結果が陰性だった場合は、1、2日のうちに塾再開。(ただし、家族が一人でも陽性だった場合は、更に数日間様子を見る可能性あり。また、家族内の隔離徹底が前提)
- ③ 検査結果が陽性だった場合は、上記2と同様の対応。

5. スタッフが(一般的な)体調不良で、感染症の可能性のある場合

- ① 塾生や他のスタッフとの接触を避けるため、時間帯を指定して出勤し、講座前に全ての準備を整えて、塾長、他のスタッフ、アドバイザーに引き継ぐ。
- ② その際は、マスク着用、入退室時の手指の消毒徹底、作業の際は使い捨て手袋使用。(なければ手指の消毒徹底のみでも可) ドアノブ、電灯スイッチなど、自分が触った可能性のある場所を、退室時に全て消毒する。